本資料のうち、枠囲みの内容 は商業機密の観点から公開で きません。

女川原子力発電所第2号	号機 工事計画審査資料
資料番号	02-工-A-03-0002_改 0
提出年月日	2021年6月15日

# 工事計画に係る説明資料

核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵設備 (本文)

2021年6月

東北電力株式会社

## 申請範囲

- 2. 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設
  - 2.3 使用済燃料貯蔵設備
    - (1) 使用済燃料貯蔵設備
      - ・使用済燃料プール (設計基準対象施設としてのみ第1,2号機共用)
    - (2) 使用済燃料運搬用容器ピット
      - ・キャスクピット (第1,2 号機共用)
    - (3) 使用済燃料貯蔵ラック
      - ・使用済燃料貯蔵ラック (設計基準対象施設としてのみ第1,2号機共用)
    - (4) 破損燃料貯蔵ラック
      - ・制御棒・破損燃料貯蔵ラック
    - (5) 制御棒貯蔵ラック
    - (6) 制御棒貯蔵ハンガ
    - (8) 使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

2-3-1

2.3 使用済燃料貯藏設備 (1) 使用済燃料貯蔵槽

変 更 後	使用済燃料プール*2 (設計基準対象施設としてのみ第1,2号機共用)								変更なし							
変 更 前	使用済燃料プール (第1,2号機共用)*1	ステンレス鋼内張りプール形 (ラック貯蔵方式)	$2240^{*3}$	148*3	12200*4.*5.*6	14035*4.*5.*7	11820*4.*8	$(6^{*4,*10})$	960*4,*10,*11	2100*4.*10.*11	2100*4.*10.*11	2100*4.*10.*11	2100*4.*10.*11	SUS304	鉄筋コンクリート*13	1
			呑	₩	шш	шш	шш	шш	шш	mm	шш	шш	шш	ı		ı
	奉	類	然 料 集 合 体	制御梅	かん	擮	70	ライニング材厚さ*9	単	闰	を関する	사	斑	ライニング材*12	쿌	個数
	死	重		· <b>i</b>	*		※		   		mfn1 ⊑=1(1) (				菜	匣

注記\*1:記載の適正化を行う。既工事計画書には「使用済燃料プール」と記載。 \*2 :使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備(燃料プール冷却浄化系,燃料プール代替注水系,燃料プールスプレイ系)と兼用。 \*3 :制御棒・破損燃料貯蔵ラックに最大10本の制御棒を貯蔵した場合。

\*\*3 : 制御棒・破損燃料的廠ラックに最大10本の制御棒を貯蔵した場合。
\*\*4 : 公称値を示す。
\*\*5 : 使用済燃料プール内のりを示す。
\*\*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「12.2m」と記載。記載内容は,設計図書による。
\*\*7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「14.0m」と記載。記載内容は,設計図書による。
\*\*8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「11.8m」と記載。記載内容は,設計図書による。
\*\*8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「11.8m」と記載。記載内容は,設計図書による。
\*\*9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内張り材厚さ(最小)」と記載。
\*\*10:既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。

\*11:ライニング材を含む厚さを示す。 \*12:記載の適正化を行う。既工事計画書には「内張り材」と記載。

\*13:既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は,平成4年1月13日付け3資庁第10518号にて認可された工事計画書の添付書類「IV-2-6-2-1 使用済燃料プール(キャスクピットを含む。)の耐震性についての計算書」による。

#### (2) 使用済燃料運搬用容器ピット

		7. 伊然怀堡贼用谷布	H - /			
				変更前	変更後	
名	称			キャスクピット (第 1, 2 号機共用) * <sup>1</sup>		
種		類	_	ステンレス鋼内張りプール形		
容		量	個	1*2		
	た	て	mm	3200* <sup>3,</sup> * <sup>4</sup> , * <sup>5</sup>		
		横	mm	3200*3, *4 <mark>, *6</mark>		
	深	さ	mm	11820* <sup>3,</sup> * <sup>4</sup> , * <sup>7</sup>		
主要寸法	ライ	ニング材厚さ <mark>*8</mark>	mm		変更なし	
寸   法		東	mm	800*2, *3, *11		
	日卒	西	mm	800*2, *3, *11		
	壁厚を	壁厚さ	南	mm	800*2, *3, *11	
	7	北	mm	2100*2, *3, *11		
		底	mm	2100*2, *3, *11		
材	材 ライニング材* <sup>12</sup>			SUS304		
料			_	鉄筋コンクリート <mark>*<sup>13</sup></mark>		
個		数		1		

注記\*1:記載の適正化を行う。既工事計画書には「キャスクピット」と記載。

\*2: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*3:公称値を示す。

\*4:キャスクピット内のりを示す。

\*5:記載の適正化を行う。既工事計画書には「3.2m」と記載。記載内容は,設計図書による。

\*6:記載の適正化を行う。既工事計画書には「3.2m」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*7:記載の適正化を行う。既工事計画書には「11.8m」と記載。記載内容は,設計図書による。

\*8:記載の適正化を行う。既工事計画書には「内張り材厚さ(最小)」と記載。

\*9:記載の適正化を行う。既工事計画書には「4mm」と記載。記載内容は,設計図書による。

<mark>\*10</mark>:床部の厚さを示す。

\*11: ライニング材を含む厚さを示す。

\*12:記載の適正化を行う。既工事計画書には「材料(内張り材)」と記載。

\*13: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年1月13日付け3資庁第10518号にて認可された工事計画書の添付書類「W-2-6-2-1 使用済燃料プール(キャスクピットを含む。)の耐震性についての計算書」による。

#### (3) 使用済燃料貯蔵ラック

				変り	更 前	変更後
名称			使用済燃料 (第 1, 2 号	貯蔵ラック }機共用)*¹	使用済燃料貯蔵ラック (設計基準対象施設として のみ第1,2号機共用)* <sup>2</sup>	
Ź	種	類	_	たて置う	ラック式	
3	容 量 体/個*		体/個*3	170 110		
	高	さ	mm		*4, *5	
主要寸法	中心	間距離	mm		*4, *6	変更なし
计法	内	のり	mm		*4	変更なし
	厚	さ	mm	以」	L*7( *4)	
7	材料		_	ボロン添加ステンレス鋼		
1	個数 —			8	8	

注記\*1:記載の適正化を行う。既工事計画書には「使用済燃料貯蔵ラック」と記載。

\*2:使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備(燃料プール冷却浄化系,燃料プール代替注水系,燃料プールスプレイ系)と兼用。

\*3:記載の適正化を行う。既工事計画書には「体(又は本)」と記載。

\*4:公称値を示す。

\*5:記載の適正化を行う。既工事計画書にはベースを含む高さである「\_\_\_」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*6:長辺方向×短辺方向の中心間距離を記載。

\*7: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

R 0  $\blacksquare$  $\Theta$ 

[参考] ボロン添加ステンレス鋼規格表

	龍	
	В	
	Cr	
*	Ni	
	S	
承	ď	
7	Mn	
	Si	
	)	
怎可	毎 %	≥20.0
被的性	降伏点 (耐力) (MPa)	≥ 205*²
幾	引張強さ (MPa)	≥ 520*²
	<b></b> 本 名	ボロン添加メデントス鋼

注記\*1:記載の適正化を行う。既工事計画書には「%)」と記載。 \*2:SI単位に換算した値を記載。

#### (4) 破損燃料貯蔵ラック

				変更前	変更後
	名	称		制御棒・破損燃料 貯蔵ラック	制御棒・破損燃料 貯蔵ラック*1
7	種	類	_	たて置ラック式	
3	容	量	体 (又は 本) /個* <sup>2</sup>	10	
	高さ		mm	*3,*4	
主要	中心同	間距離	mm	*3	変更なし
主要寸法	内	り り	mm	*3	<b>変</b> 欠なし
	厚	さ	mm	以上* <sup>5</sup> ( *3) ( *3)	
7	材料		_	A6063TE-T5	
1	固	数	_	1	

注記\*1:使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備(燃料プール冷却浄化系,燃料プール代替注水系,燃料プールスプレイ系)と兼用。

\*2:記載の適正化を行う。既工事計画書には「体(又は本)」と記載。

\*3:公称値を示す。

\*4:記載の適正化を行う。既工事計画書にはベースを含む高さである しょうと記載。記載内容は、設計図書による。

\*5: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

### (5) 制御棒貯蔵ラック

				変更前	変更後
	名	称		制御棒貯蔵ラック	
	種類			たて置ラック式	変更なし
	容	量	本/個*1	12	変更なし
	高	さ	mm		
主要寸法	中心	. 間 距 離	mm		
计法	内	のり	mm		変更なし
	厚	<del>'</del>	mm		
	材料		_	A6063TE-T5	SUS304
	個	数	_	2	変更なし

注記\*1:記載の適正化を行う。既工事計画書には「体(又は本)」と記載。

\*2:公称値を示す。

\*3:記載の適正化を行う。既工事計画書にはベースを含む高さである と記載。記載内容は、設計図書による。

\*4:制御棒貯蔵ラックの長辺方向の中心間距離を記載。 \*5:制御棒貯蔵ラックの短辺方向の中心間距離を記載。

\*6: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

変 更 後	が用かり	ダバテフ	0	* 変更なし							
											-
			54*2	*3, *4			*3, *4	*3, *4	SUS304TP*4	1*5	
更 前	制御棒貯蔵ハンガ	吊り下げ式			*3	*3, *4	*3, *4	*3, *4	SUS304		
	制御棒民	. 6 出	60*2	*3, *4			*3, *4	*3, *4 *3, *4 *3, *4	$SUS304TP^{*4}$	1.*5	明子 <b>开</b> 到证据(4) 1. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4.
							*3, *	*3, *4 *3, *4	SUS304		一年 日 一年 日
	称		本/個*1	шш	шш	ш	Щ	ш	l	I	2 11/4/11
		類	ゴ	٢	単	10	サポート外径	サポート厚さ	桑	燅	十八十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十
	各	種	栨	† #/	< ₩	脚幅		浜 中 ポ・	#	個	以 しょう 土 財 う 年 早 ここ 早 式

(6) 制御棒貯蔵ハンガ

注記\*1:記載の適正化を行う。既工事計画書には「本」と記載。 \*2:記載の適正化を行う。既工事計画書には,「6」と記載。記載内容は,設計図書による。 \*3:公称値を示す。 \*4:既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は,設計図書による。 \*5:記載の適正化を行う。既工事計画書には,「19」と記載。記載内容は,設計図書による。

\*7, \*8 燅 変更なし 変更なし 変更なし 変更なし 甸 占 燃料プール冷却浄化系 原子炉建屋 0. P. 33. 20m 変更なし 変更なし 変更なし 変更なし 緬 変更なし 変更なし 変更なし 変更なし 溢水防護上の 区 画 番 号 溢水防護上の配慮 が必要な高さ 流水防護上の 区 画 番 号 溢水防護上の配慮 が必要な高さ 溢水防護上の 区 画 番 号 溢水防護上の配慮 が必要な高さ 溢水防護上の 区 画 番 号 溢水防護上の配慮 が必要な高さ 流水防護上の 区 画 番 号 溢水防護上の配慮 が必要な高さ 8 (ライン名) 浴水防護上 0区 国 番 5 ŧ 浆 鮰 滚 設 更 臣 9\* # 変  $0\sim120^{\circ}$ C  $\sim$  7300mm -4300涠 鰄 水位 温度 11111111 変更なし 変更なし 変更なし 変更なし メパ パイパ ボルルド 田 田 田 凝 測温抵 抗体 種 苓 使用済燃料プール 水位/温度 (ガイドパルス式) 4 \*2 \*4 \*5 燅 % 甸 币 燃料プール冷却浄化系 燃料プール冷却浄化系 燃料プール冷却浄化系 燃料プール冷却浄化系 原子炉建屋 0.P. 18.30m 原子炉建屋 0.b. 33.20m 原子炉建屋 0.P. 15.00m 0. P. 33. 20m 原子炉建屋 緬 ~ ~ 柘 ₩ \_ 怅 伥 胀 名~ 胀 Þ 柘 名 柘 (8) 使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置 7 レイン 7 湿 旄 鮰 游 鮰 游 鮰 漧 鮰 11 11 11 米 誸 設 米 米 榖 米 0. P. 32730mm 0. P. 32930mm # 0. P. 16078mm  $0\sim100^{\circ}$ C  $0\sim100^{\circ}$ C 擂 三 フロート以水位検出器 フロート式水位検出器 凝 熱電対 熱電対 種 燃料プールライナ ドレン漏えい 菸 燃料貯蔵プール 水温度 燃料プール冷却 浄化系ポンプ 入口温度 燃料貯蔵プール 4

_									
	燅		*9, *10	_					
	匣								
	箇所	燃料プール冷却浄化系	原子炉建屋 0.P. 33.20m			I			
幾	付	条 (ライン名)	置床	水防護上の	画 番 号	層	火 単 な 神 な		
画	取	※ 	款	浴水	M	箔木豆	が次		
痰	囲			~	9*	L			
松	範	C <sub>0</sub> O <sub>1</sub>	0010			$0\sim7010$ mm			
	鰄	Č				0			
	11111111	頭	庚		X	Ħ			
	類		本組	₹ 					
	種								
	称								
	谷	使用済燃料プール 水位/温度 (ヒートサーモ式)							
	数								
	匣								
	所								
	展								
遍	付付								
更	取								
変	Ħ								
	i 範								
	計測								
	類								
	種								
	名								